

To The FUTURE!
未来へ



公益社団法人
東京都看護協会
TOKYO NURSING ASSOCIATION



看護と向きよう

新人看護職特集

先輩たちの
お仕事現場

直撃

インタビュー!

保健師のお仕事

東京都多摩立川保健所

助産師のお仕事

医療法人財団順和会 山王病院

看護師のお仕事

医療法人社団松和会 池上総合病院



注目

就職直前お役立ちセミナー

先輩看護師からの
メッセージ



医療を支えるアイテム

体温計の気になる不思議

(テルモ株式会社)

大切なユニフォームの
お手入れ方法

(クラシコ株式会社)

2022. DEC
vol.2



看護師のお仕事

池上総合病院は、東京都指定二次救急医療機関であり、大田区の池上ブロックの災害拠点病院としての役割も担っています。総合病院としては25科の診療科をそろえ、急性期医療から慢性期医療、訪問看護まで地域の幅広いニーズに応えています。地域包括ケア病棟も擁しており、急性期の治療後すぐの退院に不安がある場合もサポートしています。2022年10月には、急性大動脈スーパーネットワークに加盟し、緊急大動脈疾患の患者を受け入れる診療体制を整えています。



医療法人社団松和会
池上総合病院
東京都大田区池上 6-1-19
https://ikegamihosp.jp/



私たちの外科病棟を紹介します



消化器外科・泌尿器科・
呼吸器外科・心臓血管外科
の4科が入り、
外科全般に対応しています。

糸賀さんはしっかり
成長できています。
この先、壁にぶつかっても
必ず乗り越えられるから
頑張ってください！

副院長・看護部長
佐藤美加さん

看護部長の目



看護部全体の教育の特徴とは？

Q

① クリニカルラダーをもとに研修

当院は災害拠点病院にも指定されているので、入職して最初の4年間で内科系、外科系を各2年どちらも経験して基礎を身に付ける方式です。どちらも経験したうえで、その後のキャリアを決めることができます。さらに日本看護協会のクリニカルラダーをもとに、1年目から5年目までカリキュラムを組んで新人看護師を育成しています。近年コロナ禍で実習が十分でなく入職する新人も増えているので、入職後2週間の集合研修に加えて、毎月のフォローアップ研修の時間も増やして、実習で学べなかったことを補えるようにしています。

② 2人の先輩看護師が新人をフォロー

業務をペアで進めるPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）が新人教育の基本。ただし、新人看護師の場合は先輩看護師2人のペアが新人看護師1人を育てる3人体制のシステムにしています。1対1のプリセプター制度はどうしても新人を指導する先輩看護師1人の負担が大きくなってしまいますが、3人体制にしたことで負担が分散され、夜勤が入っても先輩看護師のどちらかはフォローに回れます。2人の先輩に守られて新人看護師も安心できるようです。

目指してほしい看護師像とは？

Q

看護職に携わる人は、誰かの役に立ちたい、支援してあげたい、病める人たちに元気になってほしいという思いを持って働いていると思います。そこをさらに発展させて、患者さんが人生を全うできるような支援とは何かを真剣に考え、看護に生かせるようになってほしいです。そのためには、看護の現場でさまざまな経験を重ねて、自分の目指す方向性をしっかりと見極めて、社会に貢献できる看護師を目指してほしいと思います。

患者さんに支えられていることを忘れずに

看護の現場にはつらいことや大変なことも確かにありますから、新人のうちは緊張もしますし、不安になることも多いでしょう。しかし、患者さんを支援していく中でうれしいこと、楽しいこと、感動することにも数多く出会えます。そうした経験を自分の看護知識や考え方に取り込んでいくことができれば、より豊かな看護について考えられるでしょう。私たち看護師は患者さんを支えるだけではなく、患者さんにも支えられていることを忘れずにケアに取り組んでほしいですね。

池上総合病院 外科病棟

印象的だったエピソードは？

Q

急変した患者さんに心臓マッサージを行う場面に初めて遭遇。とっさのことで頭が真っ白に。一緒にいた先輩がどのようにすればよいか次々と声をかけてくれたことで、落ち着いて処置することができました。急変時にチームワークで事態を乗り切る大切さを学ぶよい経験になりました。

A

自分で成長したかと思うことは？

Q

最初は先輩に1から教えていただくことが多かったのですが、最近は自分で考えて「こう思いますかどうでしょうか」と答え合わせをするように心がけています。技術面でもできることが増え、患者さんのケアも自分自身で考えて行う機会が多くなってきて、自分で成長したかと思うと同時に責任も感じます。

A

2年目に ADVICE 向けて

どうしても新人のうちは、技術面や勉強面に視点が向きがち。でも、看護師に最も求められるのは人と関わる力。患者さんによりよいケアを行うために、自分がつらいときにどんな言葉をかけてほしいかなど、コミュニケーションの取り方もしっかりと考えてほしいと思います。

困ったときは周囲を頼るのも大事

さまざまな課題が重なっているときも、ある程度自分で予測して、「こうなると思うからこれに取り組みます」と伝えられるようになってきていて、とても頼もしく思います。自分に自信がなくなることもあるみたいですが、努力はきちんと実を結んでいます。困ったときはしっかりと支えるので、一緒に頑張っていきたいです。

先輩看護師の思い

Q

最近の仕事はどんな感じ？

日勤勤務の仕事は次の通り。患者さんに挨拶に回る→清潔ケアとバイタル測定や血糖測定→お昼前の準備→配膳→お昼休憩→患者さんのバイタル測定→リーダーにその日の患者さんの状態を報告して1日の業務が終了。外科病棟ということもあり、入職してすぐは緊張と不安がありました。かなり慣れてきました。

A

新人看護師
糸賀かりんさん



パートナーの中村さんは「不安なときは頼ってね」といつも声をかけてくださる。とてもすてきな先輩です。

外科病棟はチームワークもバッチリ！
頼れる先輩のサポートの下、
安心して働けます

Q

先輩からのサポートは？

業務はペアで進めるのが基本。患者さんのところに行くときは、ほぼパートナー看護師の中村さんか他の先輩看護師と一緒になので、わからないことはすぐに聞いて確認ができます。1日の終わりには、中村さんと2人でできたこととできなかったこと、次への課題を振り返ってしっかり指導していただいています。

A

これからの課題は？

Q

外科病棟では、患者さんのケア、検査、緊急対応などの課題が重なることが多く、自分は焦ってしまいがちです。そんなときに、今すぐに必要なケアは何か、後でいいものは何かといった、優先順位を自分自身の頭で迅速に考えて動ける自立した看護師になりたいです。

A

Profile

入職1年目。中学生のときに同居の祖母が皮膚がんになり自分が看護知識をつけて祖母を支えたいと考えたことがきっかけで看護師を志す。3年制の看護学校で学び、卒業後、池上総合病院に入職。

新人の 育成上の メリット

ここが安心 PNS® (パートナーシップ・ナーシング・システム®)

池上総合病院が採用しているPNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）は、2009年に福井大学医学部附属病院が開発したシステムで、看護師の経験年数に関わらず2名の看護師が複数の患者さんを受け持ち、ペアで協力し、情報を収集・共有しながらケアを提供する看護方式です。ペアが互いに補完し合い、相乗効果を発揮することで、質の高い看護を目指します。

- ①先輩看護師が新人をフォローし、わからないこと、相談したいことがその場で確認できるので、安心して看護を提供することができます。
- ②先輩看護師と一緒に業務を行うため、新人も早くから重症者の観察などを経験できるので、目覚ましい成長につながる。

